

## 年頭のあいさつ



## 道の駅を拠点としたまちづくり

神崎町長  
石橋 輝一

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健康やかな新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

さて、本町のまちづくりの拠点である道の駅「発酵の里こうざき」は、圏央道神崎ICから東関道大栄JCT間が平成27年6月に開通したことにより、都心から1時間、また東北方面から本町への交通アクセスが大幅に良くなり、連日、町内外から多くの皆様にご来場いただいているところです。

この道の駅は全国各地の発酵食品を紹介する発酵市場を設けるなど、他の道の駅にはない特色を打ち出し

ており、この取組みが評価され、国土交通省から地方創生の核となる重点道の駅に選定されております。町としては地域活性化の拠点として、各種事業を進めております。



道の駅発酵の里こうざき・神崎IC

また増加する来場者に対応するため、地元農産物、加工品の売り場面積を2倍に増やした新鮮市場棟を建設予定であります。この施設には、6次産業や発酵体験プログラムにも利用可

能な研修施設が備えられ、

町民の更なる活躍の場として、また「発酵文化」の体験

発信の場として、外国人観光客を含め、将来的な誘客に繋がるものと考えます。

平成28年3月には東京駅や浜松町までの高速バスの利用が開始され、12月には京都・大阪方面への夜行バスの運行も開始されました。

増加した道の駅利用者や高速バス利用者のための第2駐車場を新たに整備し、利用者の利便性を向上させると共に、パークアンドバスライド機能も併せ持たせました。

例年、ハロウィン＆花火大会など季節に応じたイベントを開催し、繰り返し訪れていただけるよう工夫してまいります。

また、道の駅は防災施設としての機能も有しており、有事には拠点として活用できるよう、太陽光発電や蓄電池システムを設置しております。昨年は防災倉庫、給水タンクや災害対応トイレを整備し、防災機能の向

上を図りました。

道の駅周辺整備では、国道渋滞時の代替路として、

また隣接する地区からの避難路として、事業を実施しております。町道新町松崎線の整備も完了しました。

道の駅周辺のさらなる機能強化を図ってまいりたいと考えております。

その他道路関係では、道路ストック事業として、橋梁の点検、舗装修繕工事や道路法面の補修等を予定しており、安心・安全なまちづくりに努めてまいります。

教育関係では、米沢小学校が昨年創立140周年を迎え、記念式典を行いました。神崎小学校とともに、児童が引き続き安心して授業が受けられるよう環境整備を図ってまいります。

また福祉関係では、本年4月から高校生までの医療費無料化を予定しており、その他保育園児及び小中学生への給食費助成、出産時・小学校入学時の子育て支援費支給や18才未満の第3子以降の保育料無料化を継続

し、より充実した子育てしやすい環境の整備に努めてまいります。



米沢小学校創立140周年記念式典

町では、第四次総合計画で、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地域の特性や資源を最大限に活かした事業を進めてまいります。

神崎町が千葉県一小さい町だからこそできる、直接町民の皆様の顔が見えるまちづくりを心がけながら、行政運営に取り組んでまいります。

皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。